

進捗管理総括シート（案）

(※事業主体のうち、◎は取り組みの中心となる主体、○は取り組みに参画する主体)

基本理念	文化財の保存・活用の課題	基本方針	方針	取り組み名	取り組み内容	期間			事業主体						進捗管理		R5年度				
						前	中	後	行政	地域	市民団体等	所有者等	民間	専門家等	主体	前期(R5-R7)事業内容及び指標・目標	実施状況・成果(指標の実績など)	課題等	今後の取組		
歴史文化の彩りを誇れるまち	文化財の把握調査と詳細調査の実施及び調査・収集の体制の拡充が必要。 文化財や歴史文化にかかる情報の整理が必要。 天然記念物は、自然環境の変化による変異や滅失の恐れがあるものがある。 個人で継承されている古文書等の資料が散逸する恐れがある。 文化財を調査する個人や団体構成員の減少・高齢化により、調査の継続が困難。	1 歴史文化の彩りを知ろう調査研究	方針①：文化財の継続的な把握調査・詳細調査の実施と調査成果の蓄積、調査体制の拡充に努める。	1-1 埋蔵文化財確認調査	埋蔵文化財包蔵地における開発等に伴う調査を行い、その成果を年報にまとめて報告し、本市の歴史文化の資産とする。	←				◎						行政(文化財課)	埋蔵文化財包蔵地の調査を実施し、年報にて報告する。 指標：年間の埋蔵文化財確認調査件数 目標：5件	埋蔵文化財包蔵地の調査を◎件実施した。			
			1-2 歴史的建造物の調査	市内に残る歴史的建造物について、ヘリテージマネージャー活動支援事業等を通じて適宜調査し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。	←				◎	○	○	○		◎	行政(文化財課)	市内の歴史的建造物について、調査を実施する。 指標：年間の歴史的建造物の調査件数 目標：2件	ヘリテージマネージャーに調査を委託し、歴史的建造物調査を◎件実施した。				
			1-3 美術工芸品の調査	市内に残る美術工芸品について適宜調査し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。	←				◎	○	○	○		◎	行政(文化財課)	市内の美術工芸品について、調査を実施する。 指標：年間の美術工芸品の調査件数 目標：5件	美術工芸品の調査を◎件実施した。				
			1-4 民俗文化財の調査	市内の民俗文化財について適宜調査を実施し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。	←				◎	○	○	○		◎	行政(文化財課)	市内の民俗文化財について、調査を実施する。 指標：年間の民俗文化財の調査件数 目標：5件	民俗文化財の調査を◎件実施した。				
			1-5 天然記念物の調査	市内の天然記念物について、適宜調査を実施し、保護等の経年変化を記録するとともに本市の歴史文化の資産とする。	←				◎	○	○	○		◎	行政(文化財課)	市内の天然記念物について、調査を実施する。 指標：年間の天然記念物の調査件数 目標：5件	天然記念物の調査を◎件実施し、経年の変化等を記録した。				
			1-6 歴史資料の調査	市内の個人所蔵の歴史資料や歴史的公文書の調査を適宜実施し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。	←				◎	○	○	○		◎	行政(文化財課)	市内の歴史資料について、調査を実施する。 指標：年間の歴史資料の調査件数 目標：5件	歴史資料の調査を◎件実施した。				
			1-7 調査体制の拡充	文化財の調査が継続できるよう、調査会等の団体への加入促進や、市の専門職員の配置を拡充する。	←				◎		○				◎	行政(文化財課)	調査会等の団体への加入促進や、市の専門職員の配置の増員を要望する。	市の専門職員の配置の増員を要望した。			
	文化財の保存管理の課題	文化財の価値を明らかにし、適切に文化財指定・登録することが必要。	2 歴史文化の彩りをつなぐ保存管理	方針①：文化財を保護し価値を高めるため、調査研究を行い、適切に文化財指定や登録を行う。	2-1 文化財の新規指定・登録	調査研究の成果で価値が判明したの中から、適宜文化財の指定及び登録を行う。	←				◎	○		○	◎	行政(文化財課)	文化財の指定及び登録を行う。 指標：年間の新規市指定文化財及び登録文化財件数 目標：市指定1件・登録1件	市指定1件(◎◎神社の◎◎) 登録文化財1件(星家住宅)			
				2-2 歴史的風致形成建造物の指定	歴史的風致維持向上計画の重点地区内において、景観を維持する上で必要な建造物を指定する。	←				◎	○		○		◎	行政(文化財課)	歴史的風致形成建造物を指定する。 指標：年間の歴史的風致形成建造物の指定件数 目標：1件	歴史的風致形成建造物を◎件(◎◎邸)指定した。			
		経年劣化・破損した文化財の適切な修理・保存と維持管理が必要。	2 歴史文化の彩りをつなぐ保存管理	方針②：経年劣化や破損により、文化財本来の価値が損なわれる恐れのあるものについて適宜保存修理するとともに、適切に維持管理する。	2-3 有形文化財の保存修理	経年劣化している観音提寺楼門二天像修理事業等、有形文化財の保存修理事業を実施する。	←				○	○	◎	○	○	◎	所有者等				
					2-4 民俗文化財保存継承事業	上野天神祭のガンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業及び、勝手神社神事踊りに代表される民俗文化財の保存修理を行う。	←				○	○	◎		○	◎	所有者等				
					2-5 史跡の保存整備と環境整備の推進	伊賀国庁跡の保存整備と伊賀国分寺跡・上野城跡のほか、表虫庵保存修理事業等の史跡の環境整備を行う。	←				◎	◎	○	○		○	◎	行政			
		文化財の保存整備や個別文化財の保存活用計画の策定が必要。	2 歴史文化の彩りをつなぐ保存管理	方針③：文化財の価値を高めるため文化財施設を維持管理し、文化財の保存整備を進めるほか、個別の文化財について必要に応じて保存活用計画の策定に取り組む。	2-6 文化財施設等の維持管理	旧栗広堂・旧小田小学校校舎・入交家住宅・城之越遺跡・赤井家住宅等について、適切に維持管理する。	←				◎		○		◎	行政					
					2-7 個別文化財の保存活用計画等の策定	上野城跡及び城之越遺跡の保存活用計画等を策定する。	←				◎			◎		○	行政(文化財課)	上野城跡の保存活用計画を策定する。(R5-7) 指標：上野城跡保存活用計画策定の進捗率 目標：進捗率30%			
資料の整理と適切な保存管理やデジタル化、保管施設の整備が必要。	2 歴史文化の彩りをつなぐ保存管理	方針④：歴史文化を知り資料を活用するため、資料の整理と適切な保存管理を行い、施設の整備等に努める。	2-8 資料の保存・整理	歴史・考古・民俗の各種資料を適切に整理し、保存管理するとともに、保管施設の整備に努める。	←				◎	○	○	○	○	◎	行政(文化財課)	歴史・考古・民俗の各種資料を適切に整理し、保存管理する。	阿山ふるさと資料館内の考古遺物及び民俗資料を整理し、集約した。				
文化財を継承するための人材と費用の確保が必要。			2-9 文化財を継承するための人材と費用の確保	有形文化財や民俗文化財を保存・継承するための人材・人員の確保と費用を確保するための取り組みを行う。	←				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	全て					

基本理念	文化財の保存・活用の課題	基本方針	方針	取り組み名	取り組み内容	期間			事業主体						進捗管理		R5年度							
						前	中	後	行政	地域	市民団体等	所有者等	民間	専門家等	主体	前期(R5-R7)事業内容及び指標・目標	実施状況・成果(指標の実績など)	課題等	今後の取組					
歴史文化の彩りを誇れるまち	文化財の普及啓発の課題	3 歴史文化の彩りを伝える・普及啓発	方針①: 文化財の説明看板の設置や歴史文化に関するパンフレットの作成、デジタルコンテンツを使った発信に努める。	3-1 文化財看板の設置	文化財説明看板設置事業や宿場・街道案内板等整備事業等、指定文化財の説明看板について、QRコードを付設したものなど、時代に対応したものを設置する事業を展開する。	←				◎	○	○	◎	○	○	行政								
				3-2 文化財パンフレットの作成	分野別・地域別の文化財パンフレットを作成する。	←				◎	◎	○	○	○	◎	行政								
				3-3 SNS・インターネットを活用した発信	文化財の魅力伝える写真のSNS掲載や動画配信する。また、「デジタルミュージアム秘蔵の国伊賀」の掲載資料等を拡充する。	←					◎	○	○	◎	○	○	行政							
				3-4 学校教育との連携	副読本『伊賀のこと』等を活用し地域学習に取り組み。出前講座や資料の貸し出しを行う。	←				◎	◎	○	○	○	○	行政								
	文化財の活用の課題	4 歴史文化の彩りを楽しむ活用	方針①: 文化財に親しむ機会の充実に努め、魅力を伝える取り組みを行う。	4-1 有形文化財を見る機会の充実	所有者や地域と連携し、身近な有形文化財に触れるため、見学会等を開催する。	←				○	○	○	◎	○	所有者等									
				4-2 民俗文化財への参加・体験	上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業など、民俗文化財の見学や参加・体験する機会を設ける。	←				○	◎			◎	○	地域								
				4-3 史跡や天然記念物に触れる機会の充実	地域と連携し、身近な史跡や天然記念物に触れるため文化財ウォーキングやオオサンショウウオ観察会等を開催する。	←				◎	◎	○	◎	○	○	行政(文化財課)	オオサンショウウオ観察会を開催する。 指標: 観察会開催数 目標: 1件							
						所有者等																		
				4-4 文化財を活用した観光事業の展開	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と連携した文化財を知る、触れる機会を設けるなど、観光と連携した取り組みを行う。	←							○	○	◎	○	民間							
				4-5 文化財施設等における各種展示会等の開催	旧崇広堂・赤井家住宅等の施設において、芸術文化に関する展示会等を開催する。	←							○		◎		民間							
				4-6 芭蕉翁顕彰事業の推進	芭蕉祭やしぐれ忌を開催するとともに、企画展等を開催する。	←				◎				○		◎		行政						
	民間																							
4-7 日本遺産関係事業の推進	構成文化財を巡るサイクリングロードの設定やツアー造成等を実施する。	←								◎	○	◎		市民団体等										
文化財の防犯・防災に関する課題	文化財の防犯・防災対策を着実に進める	方針①: 防犯設備の点検と訓練の実施に取り組む。	1 文化財防災設備の点検及び訓練	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を実施する。	←				○	◎			◎		地域									
			2 文化財防火訓練	文化財防火デーに合わせた、文化財防火訓練を実施する。	←				○	○			◎		所有者等									
			3 災害リスクの把握	文化財ハザードマップを作成する。	←				◎	○					行政									
文化財の展示・公開施設の整備と専門職員の配置が必要。	方針③: 文化財を見る、親しむ機会を拡充するため、考古資料や歴史・民俗資料を展示する施設の設置に努める。	4-9 博物館等の施設整備の検討	資料の保存・展示・研究の施設である博物館施設の整備の検討を行う。	←				◎			○	◎		行政										
			専門家等																					
文化財の防犯・防災に関する課題	文化財の災害リスク把握が必要。	方針②: 文化財が所在する場所の災害リスクの把握に努める。	1 文化財防災設備の点検及び訓練	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を実施する。	←				○	◎			◎		地域									
			2 文化財防火訓練	文化財防火デーに合わせた、文化財防火訓練を実施する。	←				○	○			◎		所有者等									
			3 災害リスクの把握	文化財ハザードマップを作成する。	←				◎	○					行政									
			4 緊急時の連絡・通報体制の整備	災害・盗難など緊急時の対応マニュアルを作成する。	←				○	○			◎		所有者等									